

あの頃の津山

宮川とお城と千代稻荷

(明治時代末期から大正時代頃)



写真提供・江見写真館



現在の宮川と津山城の石垣と千代稻荷

写真は、明治時代末期から大正時代にかけて、現在の宮川に架かる三枚橋と稻荷橋の間から千代稻荷に向かって撮影したものの思われます。当時の宮川は、まだ堤防や護岸工事が行われておらず、河岸には建物もほとんど見られません。左側には、津山城三の丸の石垣が見えます。津山城は、城の東側の防御線を険しい断崖と宮川に設定して築城されたと言われています。

中央には千代稻荷のものと思われる鳥居が、その奥には民家とおぼしき建物も見えます。しかし、千代稻荷の社殿は木々に隠されて見ることができません。

『苦田郡誌』によると、千代稻荷は鶴山八幡宮の摂社として、津山城築城以前は鶴山八幡宮のあった鶴山の山頂に祀られていました。しかし、慶長9年(1604)、津山城築城に合わせて鶴山八幡宮とともに親山(八出)に移され、さらに、同13年(1608)、ともに山北に移されます。鶴山八幡宮は、その地に留まりましたが、千代稻荷は、その後も移転を重ね、天和3年(1683)に現在の場所(山下)に落ち着いたということです。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています
☎708-0022 津山市山下92
津山郷土博物館 ☎22-4567

今月の表紙

へびが巻く
とぐろの田で縁起良く
津山民芸社(田町)



睡眠に打ち勝つ方法はあるかな。まずは、定番。コーヒーを一杯ぐびっと。…眠い。指の運動を試してみよう。ちよっと効果あるかもでも…眠い。チューインガムをかむ。目薬を差す。背筋を伸ばす。…どれも今一つだな。あ、人と会話をする！これだ！…誰もいなかった…。…寝ようっと。()

料理家・有坂翔太さんが作ったレシピの中から、白菜のシーザーサラダを作ってみました。我ながら、おいしくおしゃれに出来上がって大満足。もしかしたら不器用なわたしでも、ちゃんとした料理が作れるのかも？今年こそ、たくさんレシピに挑戦して、たくさん料理を作りたいですね。(G)

明けましておめでとございませぬ。今年も巳年ですな。年末に財布の掃除をしていると、片隅からうろこ模様の物が出てきました。よく見ると、蛇の抜け殻。以前草むらで見つけて「お金が貯まるように」と願をかけ、しまっておいたものでした。しかし、一向にご利益がありません。トホホ。(修)

